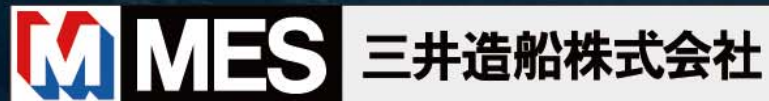


# Mitsui Engineering & Shipbuilding



# 2015年度決算説明会

2016/5/9

**Mitsui  
Engineering &  
Shipbuilding**

# 目次

- I 2015年度決算概要
- II 2016年度業績見通し
- III 14中計進捗状況
- IV 2015年度連結財務諸表

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

# 2015年度決算概要

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

## 2015年度決算概要

(単位:億円)

	14年度	15年度		対前年度差額
	実績	期初予想	実績	
受注高	9,598	9,100	6,096	△3,502
売上高	8,165	8,300	8,054	△111
営業利益 (売上高利益率)	133 (1.6%)	220 (2.7%)	118 (1.5%)	△15
経常利益 (売上高利益率)	149 (1.8%)	250 (3.0%)	151 (1.9%)	+2
当期純利益* (売上高利益率)	95 (1.2%)	130 (1.6%)	76 (0.9%)	△19
年間配当	2円	3~4円	4円(予)	

US\$期末レート

112.68

US\$平均レート

118.21

\*親会社株主に帰属する  
当期純利益

(参考)  
MES単体  
売上平均レート  
「112.55」

### 受注高

MODEC及びエンジニアリングセグメントにおけるプロジェクトの期ズレにより前年度比大幅な減少となった。

### 売上高

エンジニアリングセグメントでEPC案件の進捗が順調だったものの、MODECが829億円減収となったことから前年度比減収となった。

### 営業利益

機械及びエンジニアリングセグメントが順調に推移したものの、船舶海洋セグメントの悪化により、前年度比減益となった。

### 当期純利益

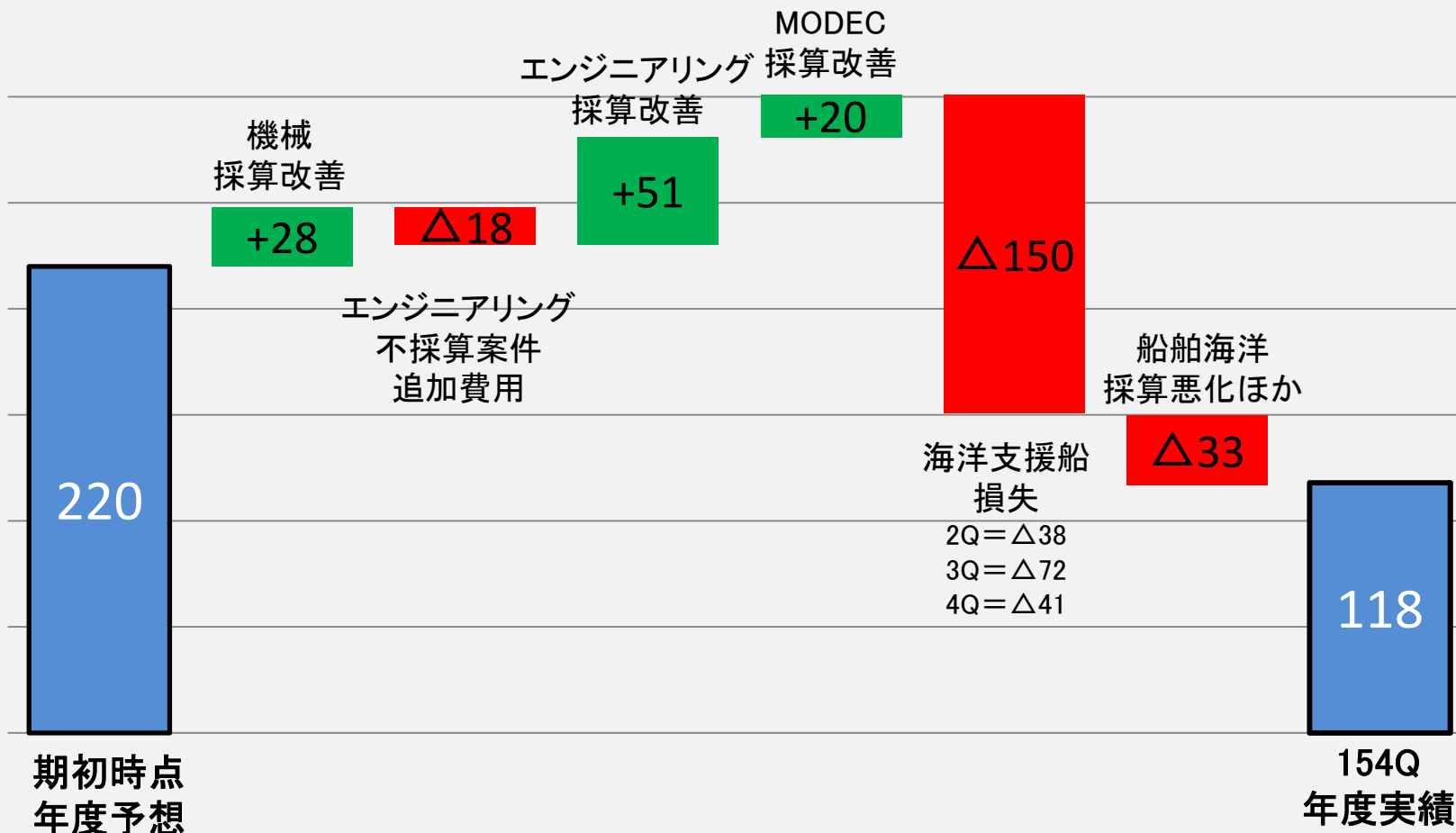
営業利益の減少により、前年度比減少となった。

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

# 営業利益の変動要因

単位: 億円

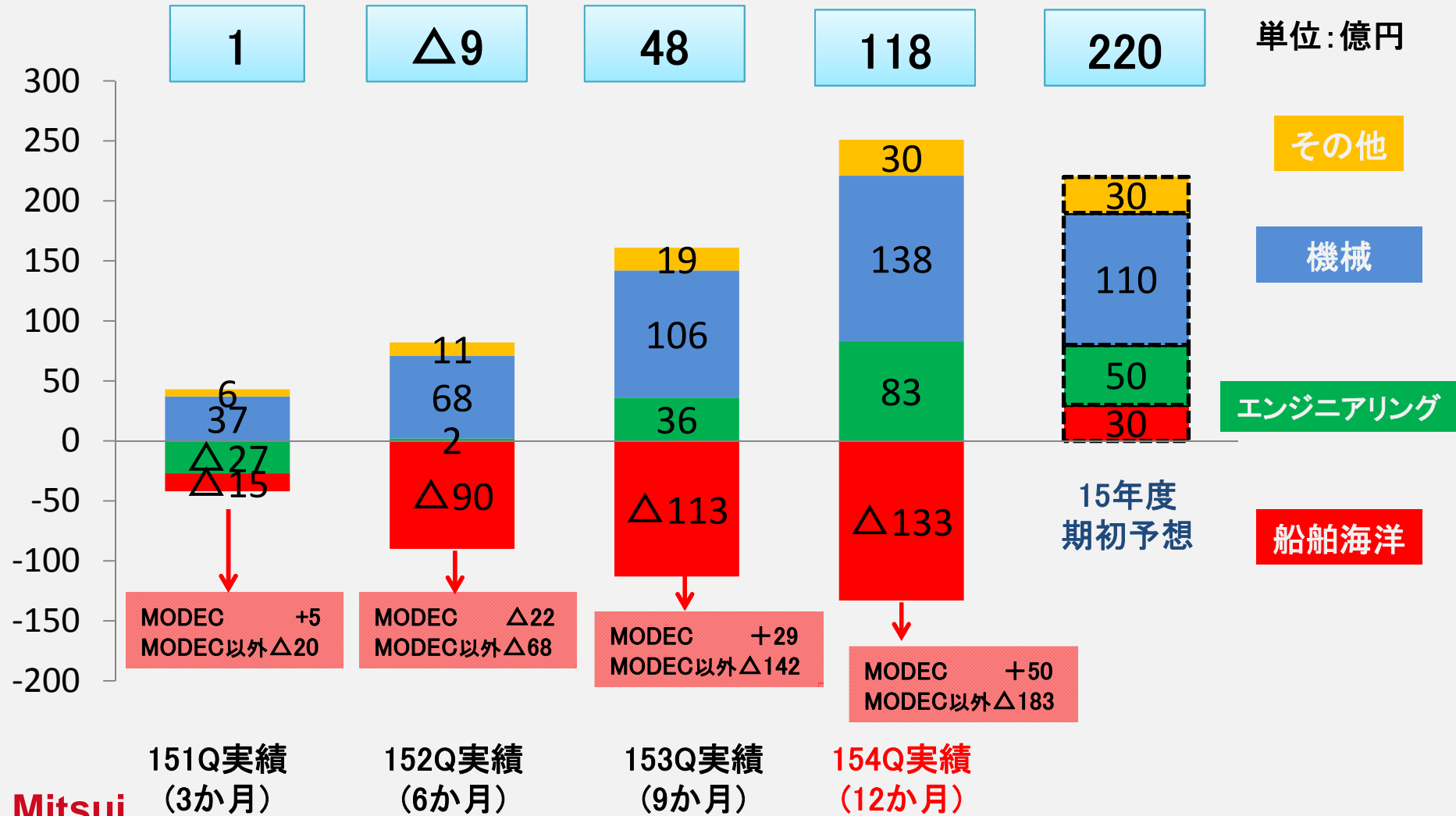


Mitsui

Engineering &  
Shipbuilding

セグメント別：営業利益四半期毎の推移

セグメント別：営業利益 累計実績四半期毎の推移



各セグメント営業利益について

## 営業利益の期初予想との比較

**船舶海洋セグメント**  $\Delta 163$ 億円 (30億円 $\rightarrow$  $\Delta 133$ 億円)

海洋支援船の悪化  
採算悪化・期ズレなど  
MODECは期初予想比+20億円の結果



**機械セグメント**  $+28$ 億円 (110億円 $\rightarrow$ 138億円)

舶用ディーゼル機関のコストダウン  
好調なコンテナクレーン  
アフターサービスの増加



**エンジニアリングセグメント**  $+33$ 億円 (50億円 $\rightarrow$ 83億円)

不採算案件の一掃  
大型プロジェクトの順調な進捗  
資機材調達でのコスト低減



**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**



# 海洋支援船の状況

## 概要

【現象】 15年度末まで受注工事損失引当金を含めて150億円の損失発生：  
度重なる設計変更による工期遅延、後戻り作業、作業要員の増加、  
追加購入資機材によるコストアップ

【対応】三井造船グループ総合力でリカバーすべく、千葉・玉野で分担建造体制を構築⇒  
新潟/千葉/玉野 3拠点間で情報をフィードバック/共有し、円滑な建造を実現する



玉野事業所：  
4隻目 船体建造中



新潟造船：  
1隻目 艀装中  
3隻目 船体建造中



千葉事業所：  
2隻目 艀装中

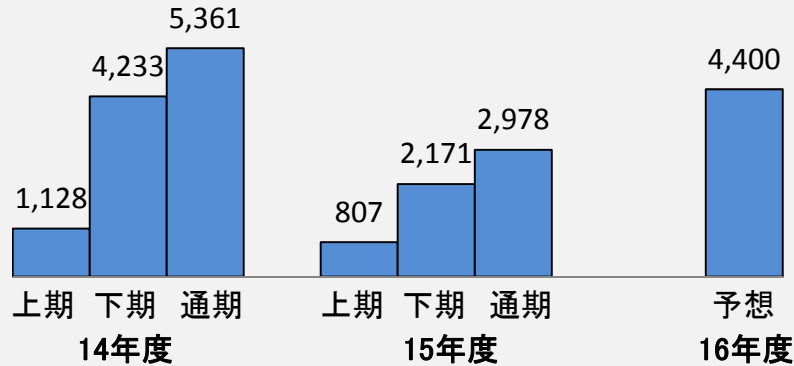
4隻いずれも年度内引き渡しで基本合意

Mitsui  
Engineering &  
Shipbuilding

全長88.90m × 幅21.00m × 深さ9.50m  
総トン数 4,250トン、速力 18.40ノット  
曳航能力 300トン、主機関 4,500kW × 4基

(単位:億円)

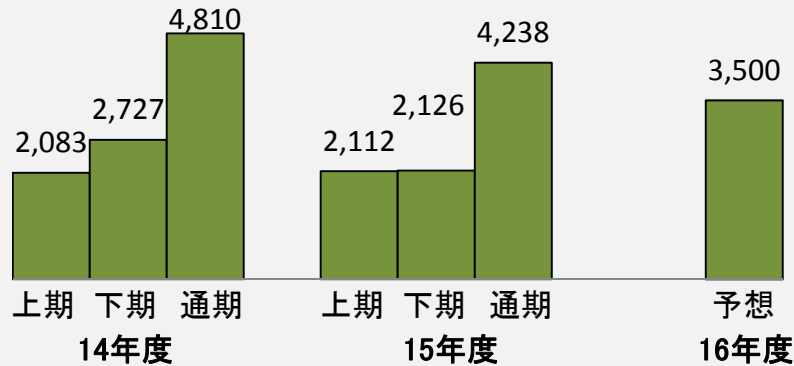
受注高



**受注高: 対前年度△2,383億円の減少**

新造船部門では、市況低迷が続く中、現在市場投入しているNeoシリーズ(56BC、60BC、66BC、VLCC)の優れた燃費性能と高い信頼性を強みに、一定の受注を確保した。MODECにおいては、北海FSOを受注したものの、ブラジルでのプロジェクトが期ズレしたことにより大幅減となった結果、前年度比減少となった。

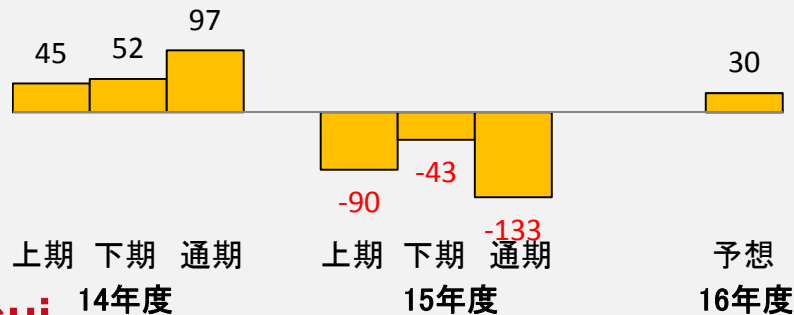
売上高



**売上高: 対前年度△572億円の減収**

新造船部門では、手持ち工事を着実に遂行することによりほぼ計画通りに推移した。一方、MODECが減少したことにより前年度比減収となった。

営業利益



**営業利益: 対前年度△230億円の減益**

一般商船における手持ち工事の採算は回復傾向にあるものの、新潟造船における海洋支援船の採算悪化により、前年度比大幅な減益となった。

Mitsui

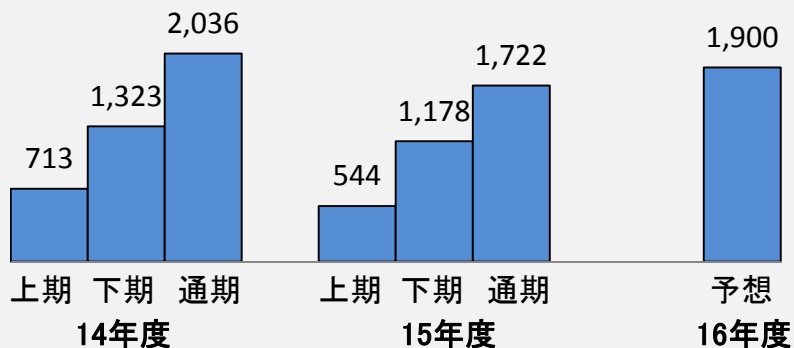
Engineering & Shipbuilding

# 機械

主要製品:ディーゼル機関、産業機械、物流運搬機

(単位:億円)

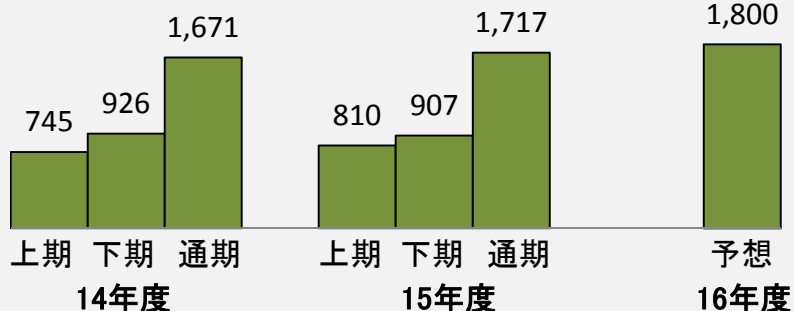
受注高



## 受注高:対前年度△314億円の減少

超大型コンテナ船の需要の高まりなどから主力の船用ディーゼル機関は好調に推移した。  
一方、豊富な手持ち工事を背景に選別受注を行ったコンテナクレーンや、石油価格下落により、案件が低迷している産業機械等が減少したことから前年度比減少となった。

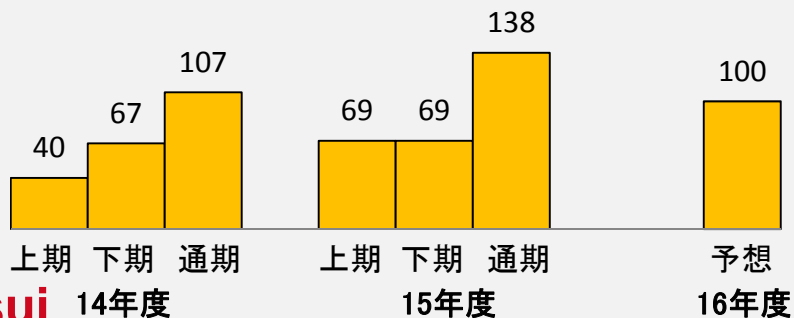
売上高



## 売上高:対前年度46億円の増収

船用ディーゼル機関はほぼ横ばいで推移したが、コンテナクレーン及びアフターサービスが好調だったことから前年度比増収となった。

営業利益



## 営業利益:対前年度31億円の増益

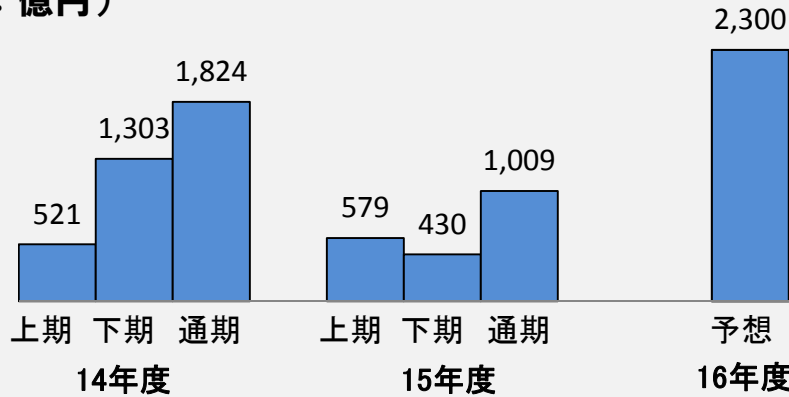
船用ディーゼル機関のコストダウンによる採算改善や、好調なコンテナクレーン及び、アフターサービスの増加等により前年度比増益となった。

Mitsui

Engineering & Shipbuilding

(単位: 億円)

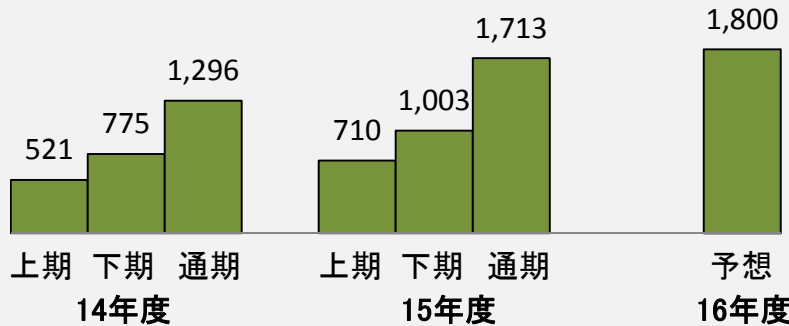
受注高



**受注高: 対前年度△815億円の減少**

石化プラント及び海外向け発電土木のプロジェクトが期ズレしたことや、前年度に大型プロジェクトを多数受注したBWSCの反動減などにより、前年度比減少となった。

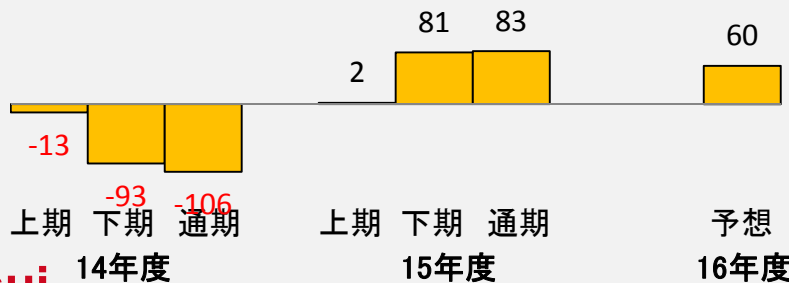
売上高



**売上高: 対前年度417億円の増収**

北米向け及びシンガポール向け石化プラントをはじめとしたEPC工事を順調に進捗したことやBWSCの増加などにより、前年度比増収となった。

営業利益



**営業利益: 対前年度189億円の増益**

前年の赤字案件が完工し、大型案件を着実に遂行したことにより、前年度比で大幅な増益となった。

Mitsui

Engineering & Shipbuilding

# 2016年度業績見通し

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

## 2016年度見通し

(単位:億円)

	15年度 実績	16年度 予想	増減
受注高	6,096	9,000	2,904
売上高	8,054	7,500	△554
営業利益 (売上高利益率)	118 (1.5%)	220 (2.9%)	102
経常利益 (売上高利益率)	151 (1.9%)	270 (3.6%)	119
当期純利益* (売上高利益率)	76 (0.9%)	210 (2.8%)	134
1株当り配当	4円(予)	5円(予)	

US\$前提

110.00

**Mitsui**

\*親会社株主に帰属する当期純利益

**Engineering &  
Shipbuilding**

2016年度見通し

	受注高			売上高			営業利益		
	15年度 実績	16年度 予想	増減	15年度 実績	16年度 予想	増減	15年度 実績	16年度 予想	増減
船舶 海洋	2,978	4,400	1,422	4,238	3,500	△738	△133	30	163
機械	1,722	1,900	178	1,717	1,800	83	138	100	△38
エンジニア リング	1,009	2,300	1,291	1,713	1,800	87	83	60	△23
その他	387	400	13	386	400	14	30	30	0
合計	6,096	9,000	2,904	8,054	7,500	△554	118	220	102

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

# 14中計進捗状況

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**



## 最近のトピックス

### \*MES Group 2025 Visionを策定、発表

「社会に価値をつくりだすエンジニアリングチーム」として、よりよい社会の実現に向け、一丸となって取り組んでいく。



**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

## 14中計進捗 ～実施施策～

### 戦略の柱1： 製造事業の変革

#### ●次世代型船型開発への取組

- ・環境志向船「neoシリーズ」のラインナップ拡充
- ・浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備用船体「noahシリーズ」開発完了



#### ●大型浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備（FPSO）船体部引渡

- ・MODEC向けに大型浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備（FPSO）船体部を引渡

#### ●LNG燃料船向け機関

- ・LNG燃料船向けME-GIの国内商用初号機を完成
- ・同機関用FGSS圧縮機との組み合わせによる陸上試運転（世界初）も実施

#### ●コンテナクレーン事業拡大

- ・大分事業所へ大型PT生産設備の設備投資
- ・製品、コンテナターミナルトータルシステムの開発、海外生産の企画準備の為、「企画開発部」「海外生産推進室」を新設
- ・韓国でのブロック生産を開始、製作・納入



**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

## 14中計進捗 ～実施施策～

### 戦略の柱2： エンジニアリング事業の拡大

#### ● TGE-Marine AG社を子会社化

中小型ガス船市場への参入とFGSS拡販を目指す

#### ● MODEC、北海の石油・ガス生産市場に初参入

同社にとって初めての北海プロジェクトとなる  
Maersk 社Culzean 鉱区向けFSO 受注



#### ● BWSCが英国向けのバイオマス発電所の建設及び運転・保守業務を受注・引渡し

CHPプラント(ボイラー部分を除く)のエンジニアリング、機器調達、建設、据付、試運転までを一括で請け負う

#### ● 和歌山県及び秋田県で風力発電所建設工事受注

和歌山県日高郡印南町向け 総出力26メガワット(当社実績最大級)  
秋田県秋田市向浜地区向け 総出力7.49メガワット



#### ● 石炭火力発電所土木建築工事受注

ベトナム国「ズエンハイ3石炭火力発電所拡張プロジェクトの土建工事」を受注

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

## 14中計進捗 ～実施施策～

### 戦略の柱3： 事業参画・周辺サービス事業の拡大

#### ●大分事業所内でのメガソーラー事業 商用運転開始

大分日吉原ソーラー株式会社へ45MWのメガソーラー発電施設)を引き渡し  
同社への当社出資比率20%

#### ●国内最大規模のバイオガス発電施設運転開始

別海バイオガス発電(北海道別海町)向け、バイオガス発電施設を  
引渡し同社への当社出資比率70%

#### ●FPSO備船事業の拡大

当社がFPSO備船事業へ直接資本参加。事業の運営及び管理を行う「FPSO事業室」を海洋事業推進部内に新設

#### ●船用エンジン修理・整備事業に参入

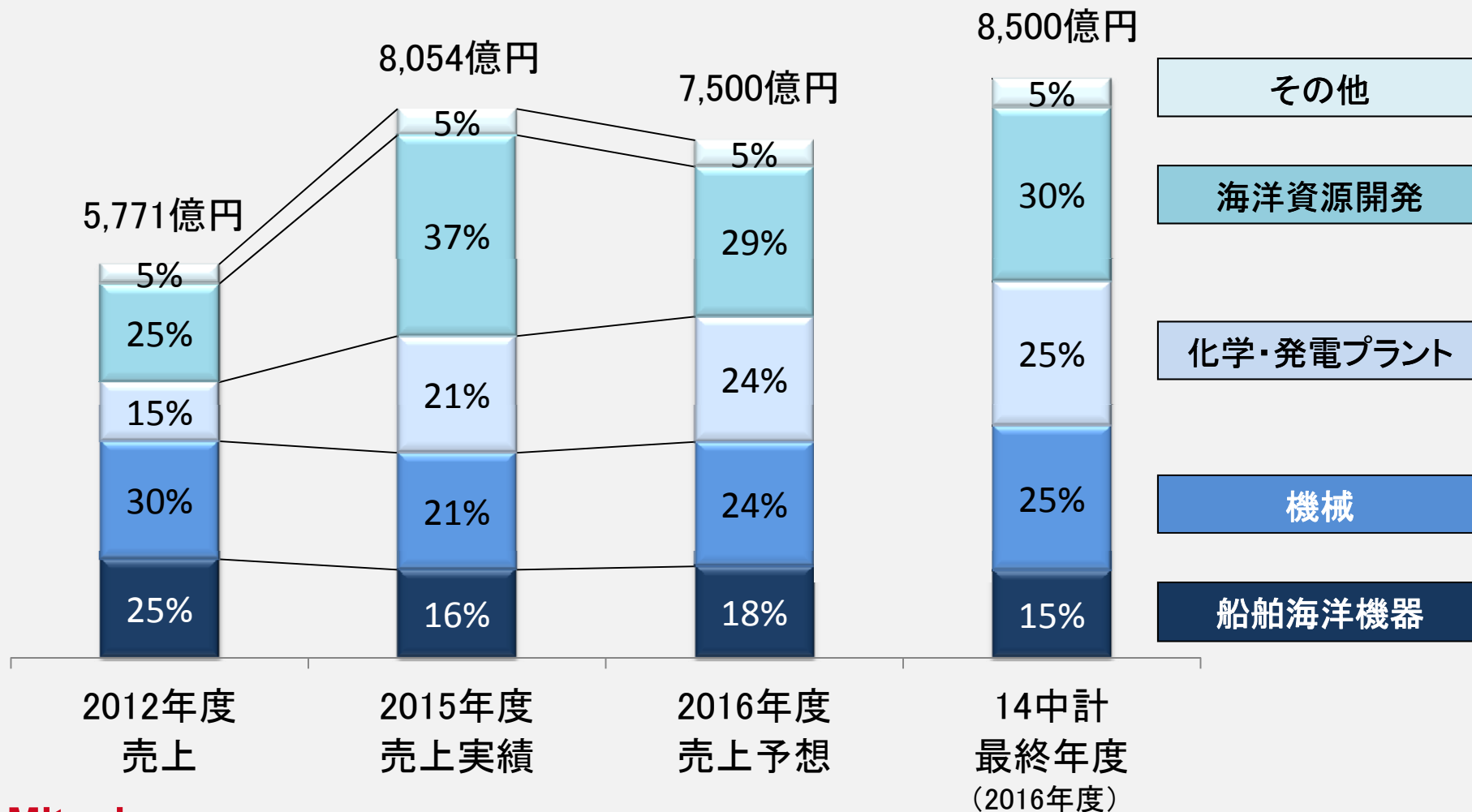
AZUMA ENGINEERING PTE(シンガポール)に資本参加

#### ●カタール、トルコに産業機械のアフターサービス拠点を設立

産業用機械アフターサービス拠点としてMTME、MTAを設立



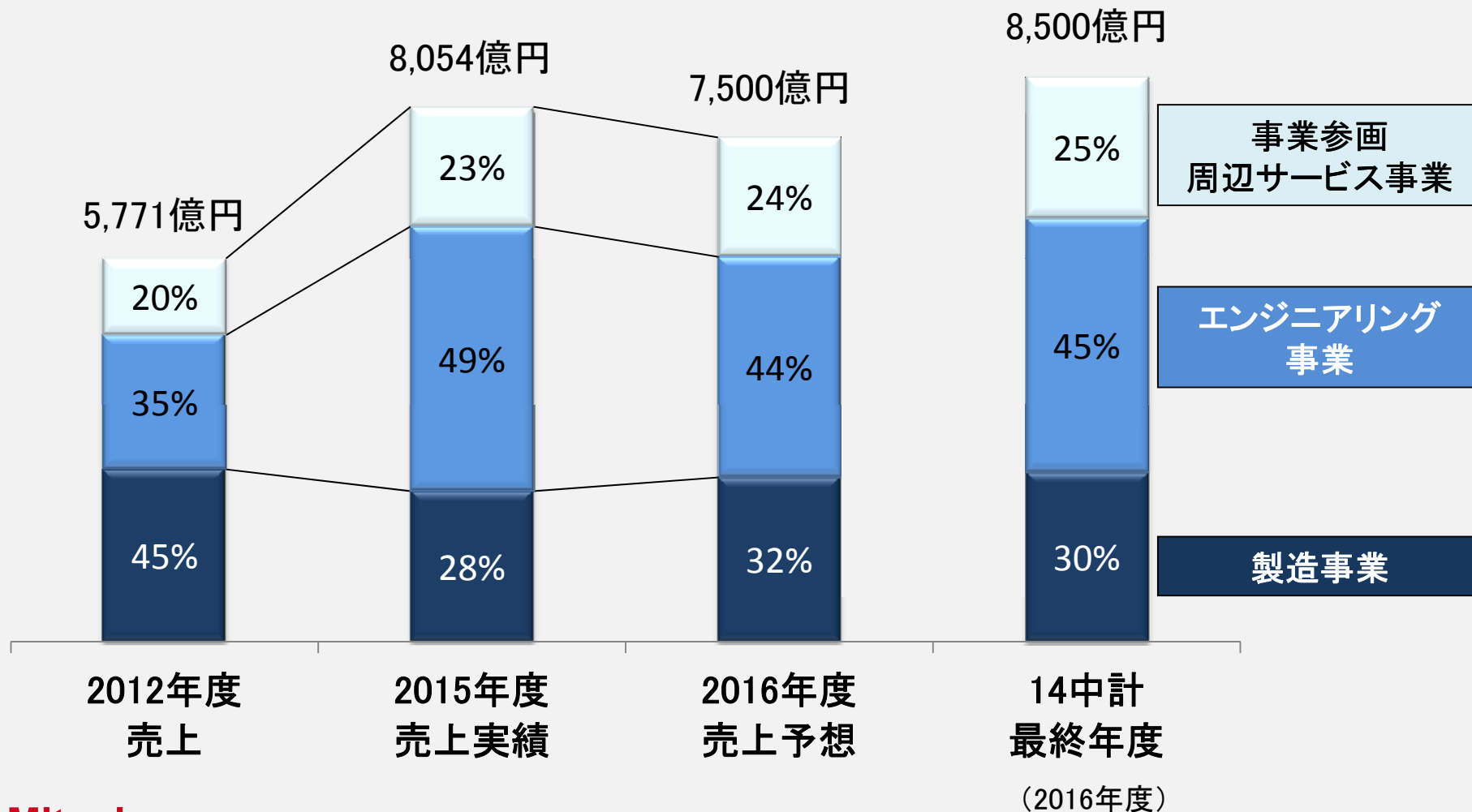
事業領域別 売上高構成比率



Mitsui

Engineering &  
Shipbuilding

## ビジネスモデル別 売上高構成比率



**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

# 2015年度連結財務諸表

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

# 連結損益計算書

(単位:億円)

	14年度	15年度	増減	
売上高	8,165	8,054	△ 111	MODEC減等
売上総利益	595	619	24	
販売費及び一般管理費	462	501	39	
営業利益	133	118	△ 15	
営業利益率	1.6%	1.5%	△ 0	
営業外収益	111	146	35	
営業外費用	95	113	18	為替差損等
経常利益	149	151	2	
特別利益	71	106	35	投資有価証券売却益等
特別損失	60	52	△ 8	
税引前利益	160	205	45	
法人税等	61	127	66	
非支配株主利益	4	3	△ 1	
当期純利益	95	76	△ 19	

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**



連結貸借対照表

(単位:億円)

	14年度	15年度	増減		14年度	15年度	増減
現預金	854	1,394	540	買掛金	2,477	2,456	△ 21
売掛金	3,110	2,824	△ 286	前受金	772	844	72
仕掛品	282	338	56	受注工事損失引当金	171	101	△ 70
その他流動資産	1,180	822	△ 358	有利子負債	1,883	2,399	516
固定資産	3,894	4,114	220	その他	1,970	1,702	△ 268
投資その他	1,426	1,448	22	純資産	3,473	3,438	△ 35
資産合計	10,746	10,940	194	負債純資産合計	10,746	10,940	194

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

連結キャッシュフロー等の状況

(単位:億円)

	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度実績	16年度予想
営業CF	472	145	152	298	△270
投資CF	△121	△373	△324	△346	△230
フリーCF	351	△228	△172	△48	△500
財務CF	△48	155	△44	482	250

有利子負債	1,483	1,878	1,883	2,399	2,680
DELシオ	0.8	0.9	0.8	1.0	1.1
ROIC	8.2%	6.5%	4.2%	3.7%	
ROE	△4.6%	21.6%	4.1%	3.2%	

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

# 補足資料

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**

補足：子会社、設備投資、従業員数

(単位：億円)

主要子会社

子会社	13年度実績		14年度実績		15年度実績		16年度予想	
	受注	売上	受注	売上	受注	売上	受注	売上
MODEC	5,185	2,544	3,958	3,785	1,888	2,950	—	2,300
BWSC	817	292	733	354	474	370	—	520
昭和飛行機			—	241	—	236	—	245

設備投資等

連結	13年度実績	14年度実績	15年度実績	16年度予想
設備投資	225	166	160	210
減価償却費	151	175	179	—
研究開発	51	49	50	50

従業員数

連結	13年度実績	14年度実績	15年度実績
従業員数	12,055人	12,291人	12,705人

Mitsui

Engineering &  
Shipbuilding

補足：主要製品と主要納入先：船舶海洋

新造船

主要製品 = 商船、艦艇、官公庁船、作業船、漁船  
 主要顧客 = 国内外船主、海運会社、防衛省、海上保安庁



海洋構造物

主要製品 = FPSO／FSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備／貯蔵積出設備）  
 主要顧客 = 石油開発会社



修繕船・その他

主要製品 = 船舶修理・改造、船舶用製品、水中機器  
 主要顧客 = 海運会社、防衛省、海上保安庁、公共機関



2015年度 単体新造船受注内訳

(単位：隻)

船種	受注	引渡	受注残
一般商船 (省エネ型 neoシリーズ)	11	19	36
艦船・官公庁船		2	
合計	11	21	36

Mitsui

Engineering &  
Shipbuilding

補足：主要製品と主要納入先：機械

## 主要製品・主要顧客

### ディーゼルエンジン

主要製品 = 船用ディーゼルエンジン等

主要顧客 = 造船所等

### 産業機械

主要製品 = 圧縮機、送風機、ガスタービン、蒸気タービン、プロセス機器、誘導加熱装置、レーダ検査装置、マニピュレーター等

主要顧客 = 石油精製、石油化学、製鉄、製紙、発電会社、自動車メーカー等

### テクノサービス

主要製品 = ディーゼルエンジン、産業機械、クレーンのサービスパーツ、メンテナンス等

主要顧客 = 海運業、石油業界、製鉄業界、海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社等

### コンテナクレーン

主要製品 = ポーターナ(岸壁クレーン)、トランスターナ(港湾クレーン)、産業クレーン、CTMS※等

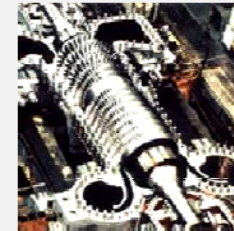
主要顧客 = 海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社、製鉄等

※Container Terminal Management System

### その他

主要製品 = 陸用/船用非常用発電装置、鋳造品、鍛造品等

主要顧客 = 建機メーカー、鉄道、通信インフラ関連業界、機械メーカー等



**Mitsui**

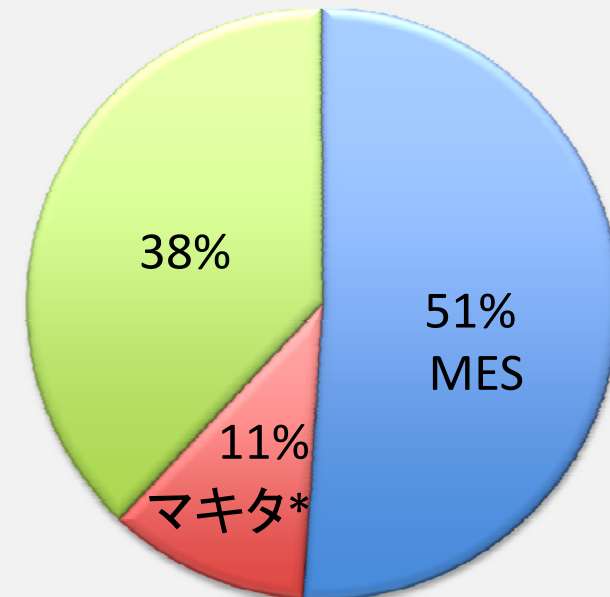
**Engineering &  
Shipbuilding**

補足：船用ディーゼル機関

	14年度累計		15年度累計	
	基数	万馬力	基数	万馬力
受注	176 *(12)	322 *(31)	170	449
売上	166	328	160 *(7)	298 *(17)
受注残	149 *(12)	284 *(31)	159 *(5)	435 *(14)
生産	181	354	181	328

\* ( )内数値は、ガス焚きエンジン(GI、LGI)内数

2015年1月～12月  
船用ディーゼルエンジン国内シェア



Source: KPデータ(2ストローク機関)

\*株マキタは当社サブライセンサー

補足：主要製品と主要納入先：エンジニアリング

化学プラント

主要製品 = プラスチック、合成繊維、合成ゴム等石油・ガス化学プラントのEPC

主要顧客 = 国内外の大手化学企業や国営石油会社

インフラ発電

主要製品 = 石炭火力発電所の土建工事、バイオマス発電等再生可能エネルギープラント  
および汚泥再生処理等の環境プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 総合商社、国内新電力会社、地方自治体

BWSC(インフラ発電)

主要製品 = ディーゼル発電プラントおよびバイオマス発電プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 大手電力会社や独立系発電事業者 (Independent Power Producer)



エンジニアリング受注・売上内訳 (億円)

	14年度実績		15年度実績	
	受注高	売上高	受注高	売上高
化学プラント	457	572	177	849
インフラ発電	1,367	727	832	864
計	1,824	1,299	1,009	1,713

**Mitsui**

**Engineering &  
Shipbuilding**